

## スポーツカーニバル 大運動会（まとめ・案）

## 1 徒競走

- ① 予定では 10:30～となっていたが、開会式が 9:35 頃で終了し、その他に流れそうになったことから 9:55 に競技スタートとなった。その為、予定時刻より前に終了することとなり、競技に参加できなかった子供達もいた。
- ② 徒競走は小学生以下の競技としていたが、一般の参加希望も多く、一般の競技も開催した（20 名程参加）。最終、100 名程の参加となった。

## 2 障害物競走

- ① 前競技が 10:20 ごろに終了をし、その後、準備の為と「通常通り 11 時スタート」を参加者に伝え、時間前に再度集まってもらってのスタートとなった。ここで時間調整等を行うのであれば、第 1 種目を早めにスタートした意味もなくなり、また、間延びした感じになってしまったことから、競技順を入れ替えて行った方が良いのではないかと。
- ② 競技内で一番多くのことを行うことを考えれば、説明時にデモンストレーション役を用いて行う方がわかりやすかったのではと思う（途中から実演説明を加えたが…）。
- ③ 参加賞の受け渡しは全レース終了後に行っていたが、全レース分を終了後にすることで、参加賞の受け渡し時間だけで多くの時間を使ってしまっていたので、随時受け渡しの方が良かったのではないかと。
- ④ レース説明時、最終の棒回転(?)の回転数が何度も変更になっていたため、事前に決めておくべきである。また、回数（小学生以下 2 回、一般 3 回）が少ないようでもあり、いとも簡単に走っており障害物競走としては、もう少し回転数が多くても良いのではないかと。

## 3 玉入れ

- ① 準備、競技ともにスムーズに進行できていた。大人と子供と混合で行っており、大人が多い方が有利ではあったが、負けても再度参加できるということで、とても盛り上がっていた。最終的にほぼ全員が勝利賞を受け取る事ができていたのではと思う。

## 4 ボール de ビンゴ

- ① チーム分けの方法、試合形式、準備等に戸惑っていることが多く、最終試合（3 試合目）の人は随分と待たされていた。練習レーンを用意する、または開始予定時刻を伝えてそれまでに戻ってもらうなどして待機時間を短縮できると、その他の体力測定や休憩を行いやすかったのではないかと。

## 5 4人5脚

- ① 開始前にタイムトライアルにするのかトーナメントにするのか、負けチームの敗者復活を行うのか等が二転三転していたので、方法を検討し直すことがよいのではないかと（最終的に敗者復活無しのトーナメント制となった）。
- ② 複数レース同時進行で時間短縮とはなったが、対戦相手が見えにくく、勝っているのか負けているのかなどがわかりにくかった。競技としては盛り上がっていたが、もう少しわかりやすい方が良かったと思う。

## 6 長縄跳び

- ① 2分間2回は長いのではないかと。2分間練習と2分本番などのやり方で良かったと思う。特に2回目は複数のチームが疲れて途中で辞めていた。

## 7 パン食い競争

- ① 競技はスムーズに行われていたが、全体的に竿が低い分、苦勞していたように思えた。  
※ 楽しむために、あえて下げて行っていたことは、盛り上がっていたので「あり」だったのかとも思うが。
- ② パン食い競争は事前申し込みが176名となっていたが、チーム申し込みで名前もわからず、事前エントリーの意味を成していなかった（最終的に全員が参加できて、200用意していたパンはいくつか残ったので良かったが…）。

## ○全体の感想として

- ① 受付方法の要検討
  - ・ チーム競技（特に1位商品を限定しており数が決まっているもの）は、事前段階として受付方法を検討すべきである（当日の何時までに受付を済ませるなど）。その場でチームを決め参加するのは、時間がかかり、少人数のチーム同士の合同チームを編成するにも競技前にドタバタとしてしまう為、進行に支障が出ていた。
- ② 競技順および時間が巻いた場合の時間調整をどう行うのかの検討
  - ・ 準備を考えると障害物競走を1番目、もしくは昼の1番目にするのが望ましい。
  - ・ 時間が早く進行した場合の対処法を検討しておく必要がある。当日、同会場でいろいろな催しを行っていたのだから、競技開始時間を基本的には尊重し、それまでの間は他の催しに参加してもらい、いろいろなことで楽しんでもらえるような工夫も必要である。
- ③ ダイトンの有効利用
  - ・ 貴重な「ダイトン」を用意したので、他の競技でも有効活用した方が良かったと思う。